

2015年1月20日

サラリーマン世帯の主婦 500 名に聞く「2014 年冬のボーナスと家計の実態調査」

**昨冬よりボーナス「増えた」34.8%、「減った」18.2%は調査開始以来最低
主婦の“へそくり”平均額 432.9 万円(昨冬比+15.8 万円)**

臨時ボーナスをあげたい人は「錦織圭」「羽生結弦」「嵐」

消費税増税が家計に「影響があった」は約 8 割！増税後は約 4 割が「不要不急の買い物を我慢」

ネオファースト生命保険株式会社(代表取締役社長:徳岡 裕士)は、全国の 20~50 代のサラリーマン世帯の主婦 500 名(各年代毎 125 名 平均年齢 39.5 歳)を対象に、「2014 年冬のボーナスと家計の実態」をテーマとしたアンケートを、2014 年 12 月 13 日(土)~16 日(火)に実施いたしました。

今冬は、ボーナス平均手取額が昨冬の平均手取額から 6.7 万円減少し、60.1 万円となりました。家計については「苦しい」が 56.4%、今後の家計の見通しについても、「厳しくなっていく(45.8%)」が「楽になっていく(12.8%)」を大きく上回るなど、依然として悲観的な見方が強い傾向となっています。

夫に内緒の資産(へそくり)については 43.4%(昨冬比+4%)が「ある」と回答。平均の所有額は昨冬に比べ 15.8 万円増の 432.9 万円という結果になりました。

また、2014 年 4 月の消費税増税が家計にどの程度影響があったのかを聞いたところ、79.4%が家計に「影響があった」、75.6%が増税後の消費行動に「変化があった」と答えるなど、消費税増税が家計に大きな影響を与えたことがうかがえます。

第 29 回「2014 年冬のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は以下となります。

《「2014 年冬のボーナスと家計の実態調査」の主な結果》

<2014 年冬のボーナス>

- 冬のボーナス平均手取額は 60.1 万円(昨冬比-6.7 万円)。昨冬よりボーナスが「増えた」は 34.8%。「減った」18.2%は調査開始以来の最低の割合。
- ボーナスの使い道トップは「預貯金」(75.0%)。「生活費の補填」「ローンの支払い」など“家計のやりくり”も多い。
- ボーナスから夫に小遣いを“渡す”主婦が昨冬より減少(53.4%→49.0%)。“渡さない”主婦は 51.0%で、調査開始以来の最多の割合。渡した平均金額も 8.8 万円とやや減少。
- 臨時ボーナスをあげたい人には「錦織圭」「羽生結弦」「嵐」「日本エレキテル連合」らがランクイン。

<家計の実態>

- 主婦の“へそくり”平均額は 432.9 万円で、昨冬に比べ大幅増(417.1 万円→432.9 万円)。
- 2014 年 4 月の消費税増税後、家計に「影響があった」は約 8 割。
- 食費節約のための食材は昨冬同様「豆腐」「もやし」が人気。
- 購入してみたい生活便利家電は「布団専用掃除機」「ノンオイルフライヤー」「ロボット掃除機」。

※「昨冬」は 2013 年冬を指します。(○○%→△△%)は、昨冬との比較を表します。

【本件に関するお問い合わせ先】

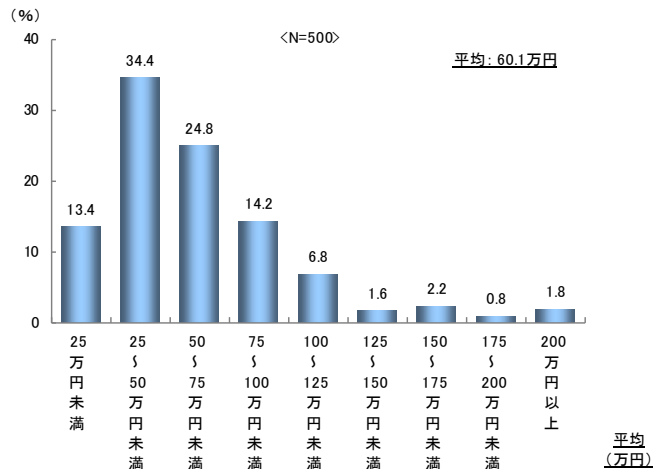
ネオファースト生命保険株式会社
経営企画部 広報グループ:植松・高月 TEL:03-5434-7025

当社は、2014 年 11 月 25 日に、社名を「損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社」から「ネオファースト生命保険株式会社」に変更いたしました。

《2014年冬のボーナス》

平均手取額は昨冬から6.7万円減の60.1万円で本調査開始以来の最低額。
 しかし、ボーナスが「減った」と答える人の割合は昨冬比21.6%→18.2%と減少傾向。

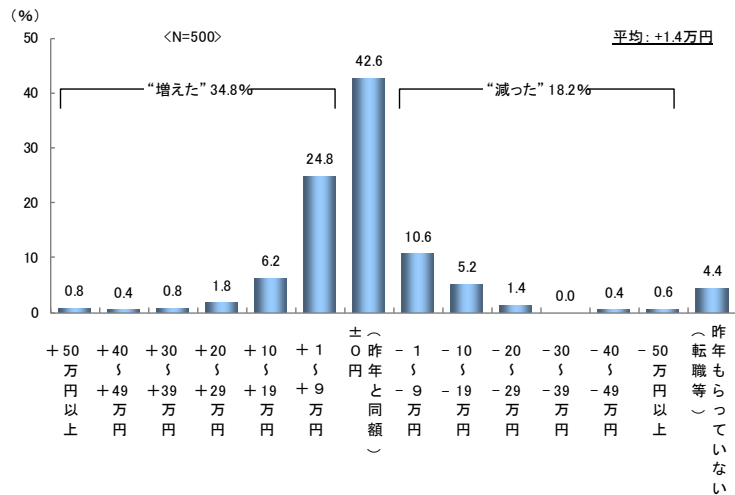
2014年冬のボーナス手取額



妻の年代	20代 <n=125>	30代 <n=125>	40代 <n=125>	50代 <n=125>	平均 (万円)
20代 <n=125>	19.2	53.6	20.8	4.0	1.6
30代 <n=125>	16.0	35.2	25.6	13.6	5.6
40代 <n=125>	9.6	28.8	26.4	20.0	7.2
50代 <n=125>	8.8	20.0	26.4	19.2	12.8
夫の役職	19.1	48.8	20.7	8.5	2.0
役員なし <n=246>	9.3	32.4	33.3	18.5	4.6
係長・主任クラス <n=108>	6.8	11.6	25.3	20.5	16.4
課長クラス以上 <n=146>	0.8	0.4	0.8	1.8	6.2
20代 <n=125>	0.8	0.4	0.8	1.8	6.2
30代 <n=125>	1.6	0.8	1.6	3.2	8.0
40代 <n=125>	0.8	0.8	1.6	1.6	8.0
50代 <n=125>	0.8	0.8	1.6	1.6	8.0
役員なし <n=246>	0.4	-	-	1.2	4.1
係長・主任クラス <n=108>	-	-	-	1.9	7.4
課長クラス以上 <n=146>	2.1	1.4	2.7	2.7	8.9

今冬のボーナス手取額は、「25～50万円未満」(34.4%)が3割を超え、平均金額は昨冬から6.7万円減の60.1万円となり、本調査開始以来の最低額を記録する結果になりました。

昨冬のボーナスと比較しての増減



妻の年代	20代 <n=125>	30代 <n=125>	40代 <n=125>	50代 <n=125>	夫の役職	役員なし <n=246>	係長・主任クラス <n=108>	課長クラス以上 <n=146>
20代 <n=125>	0.8	-	-	1.6	4.8	30.4	40.0	11.2
30代 <n=125>	-	-	-	0.8	6.4	31.2	41.6	10.4
40代 <n=125>	1.6	0.8	1.6	3.2	5.6	21.6	45.6	12.8
50代 <n=125>	0.8	0.8	1.6	1.6	8.0	16.0	43.2	8.0
役員なし <n=246>	0.4	-	-	1.2	4.1	25.6	43.5	13.0
係長・主任クラス <n=108>	-	-	-	1.9	7.4	25.0	43.5	11.1
課長クラス以上 <n=146>	2.1	1.4	2.7	2.7	8.9	23.3	40.4	6.2

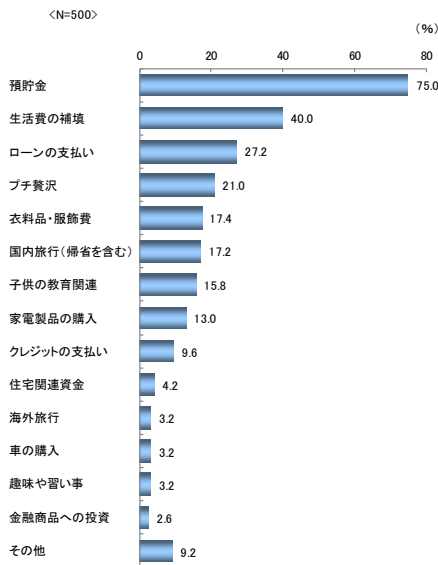
平均手取り金額は過去最低となっているものの、昨冬のボーナスと比較すると、ボーナスが「増えた」(34.8%)人は「減った」(18.2%)人より多くなっています。また、昨冬より“減った”割合が21.6%→18.2%と減少しており、増減の平均額も「+1.4万円」とやや上がっています。さらに、妻の年代に目を向けてみると、年代が上がるほど“減った人”の割合が高くなっています。

《ボーナスの使い道》

ボーナスの使い道は「預貯金」(75.0%)がトップ。

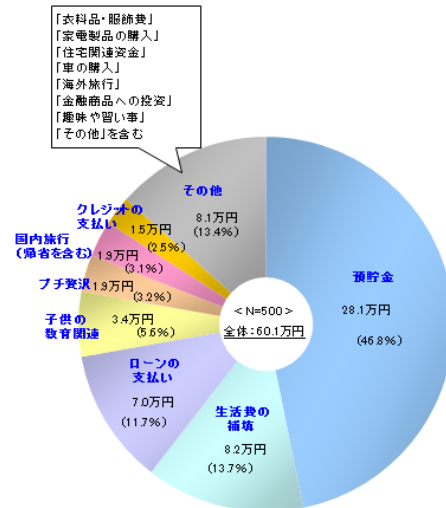
ボーナス総額のうち各用途別の割合を聞いたところ、「預貯金」(46.8%)は約5割を占める。

この冬のボーナスの主な使い道(複数回答)



ボーナスの主な使い道の総額に占める割合

(この冬のボーナス平均手取り額 60.1万円を総額とし、金額に換算)



ボーナスの主な使い道には、「預貯金」(75.0%)をあげる人が8割近くになり、次いで「生活費の補填」(40.0%)、「ローンの支払い」(27.2%)と続きます。“将来への備え”や“家計のやりくり”を意識して使う人が多く、「プチ贅沢」(21.0%)や「国内旅行」(17.2%)などの娯楽に関する項目は、2割程度にとどまっています。

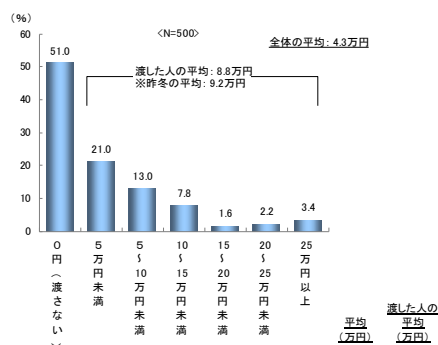
《ボーナスの中から夫に渡した小遣いの額》

「0円(渡さない)」(51.0%)が半数以上を占め、本調査開始以来の最多回答。

渡した人の平均金額は「8.8万円」と昨冬の「9.2万円」から0.4万円減少。

ボーナスの中から夫に渡した(渡そうと考えている)

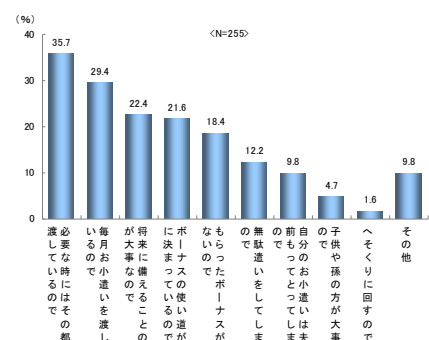
小遣いの額



妻の年代	小遣いの額 (万円)							平均 (万円)
	0円(渡さない)	5万円未満	5万円~10万円未満	10万円~15万円未満	15万円~20万円未満	20万円~25万円未満	25万円以上	
20代 (n=125)	56.0	21.6	12.0	4.0	-	1.6	4.8	3.7
30代 (n=125)	50.4	29.6	9.6	4.8	0.8	1.6	3.2	4.1
40代 (n=125)	44.8	22.4	14.4	9.6	2.4	2.4	4.0	5.2
50代 (n=125)	52.8	10.4	16.0	12.8	3.2	3.2	1.6	4.2
50万円未満 (n=239)	53.6	28.9	10.9	2.5	0.8	0.8	2.5	2.6
50~100万円未満 (n=195)	52.3	15.9	15.4	9.2	1.5	1.5	4.1	4.9
100万円以上 (n=66)	37.9	7.6	13.6	22.7	4.5	9.1	4.5	8.5

ボーナスの中から夫に小遣いを「渡さない」理由

(複数回答)



妻の年代	理由 (%)									
	渡さなくてもいい	毎月のお小遣い	が夫に渡す必要はない	にボツマナツの	ならもたつた	の無駄遣い	の前分のお小遣い	の子供や孫に渡す	へそくり	その他
20代 (n=70)	28.6	24.3	27.1	31.4	14.3	12.9	7.1	2.9	2.9	17.1
30代 (n=63)	41.3	23.8	25.4	14.3	14.3	14.3	11.1	6.3	-	7.9
40代 (n=56)	33.9	39.3	19.6	23.2	28.6	19.6	8.9	3.6	1.8	7.1
50代 (n=66)	39.4	31.8	16.7	16.7	18.2	3.0	12.1	6.1	1.5	6.1
50万円未満 (n=128)	31.3	28.1	25.0	24.2	28.9	15.6	7.0	7.0	1.6	10.2
50~100万円未満 (n=102)	40.2	30.4	19.6	23.5	8.8	8.8	10.8	2.9	2.0	8.8
100万円以上 (n=25)	40.0	32.0	20.0	-	4.0	8.0	20.0	-	-	12.0

今冬のボーナスの中から、夫に小遣いとして渡した、あるいは渡そうと思っている金額を具体的に聞いたところ、「0円(渡さない)」が51.0%を占める結果となり、本調査開始以来の最多回答となっています。また、渡した人の平均金額は昨冬比「9.2万円」→「8.8万円」と減少しており、家計を預かる主婦の財布の紐の固さを示す結果となりました。

《臨時ボーナスをあげたい人とその金額》

芸能界では「嵐」(25件)、「日本エレキテル連合」(24件)、
 スポーツ界では「錦織圭」(83件)、「羽生結弦」(78件)、
 その他の分野では「自分」(10件)、「赤崎勇・天野浩・中村修二(ノーベル物理学賞受賞者)」(9件)、
 「マハラ・ユスフザイ(ノーベル平和賞受賞者)」(4件)が上位。
 渡してあげたいボーナス金額(平均)は、「マハラ・ユスフザイ(ノーベル平和賞受賞者)」(5,150万円)、
 「大谷翔平」(3,025万円)、「浅田真央」(2,809万円)がトップ3。

臨時ボーナスをあげたい人

芸能界		
順位		件数
1	嵐	25
2	日本エレキテル連合	24
3	ふなっしー	8
	高倉健	8
5	タモリ	6
6	SMAP	3
	高橋みなみ	3
	松たか子	3

スポーツ界		
順位		件数
1	錦織圭	83
2	羽生結弦	78
3	浅田真央	11
4	葛西紀明	6
5	大谷翔平	4
6	高橋大輔	4
	田中将大	4

その他		
順位		件数
1	自分	10
2	赤崎勇・天野浩・中村修二(ノーベル物理学賞受賞者)	9
3	マハラ・ユスフザイ(ノーベル平和賞受賞者)	4
4	両親	4

総合ランキング(票数)

順位		得票数
1	錦織圭	83
2	羽生結弦	78
3	嵐	25
4	日本エレキテル連合	24
5	浅田真央	11
6	自分	10
7	赤崎勇・天野浩・中村修二(ノーベル物理学賞受賞者)	9
8	ふなっしー	8
	高倉健	8
10	タモリ	6
	葛西紀明	6

総合ランキング(金額)

順位		平均金額(万円)
1	マハラ・ユスフザイ(ノーベル平和賞受賞者)	5,150
2	大谷翔平	3,025
3	浅田真央	2,809
4	タモリ	2,400
5	錦織圭	2,274
6	両親	1,276
7	自分	1,054
8	赤崎勇・天野浩・中村修二(ノーベル物理学賞受賞者)	981
9	高倉健	888
10	日本エレキテル連合	685

昨冬の第1位と比べると、

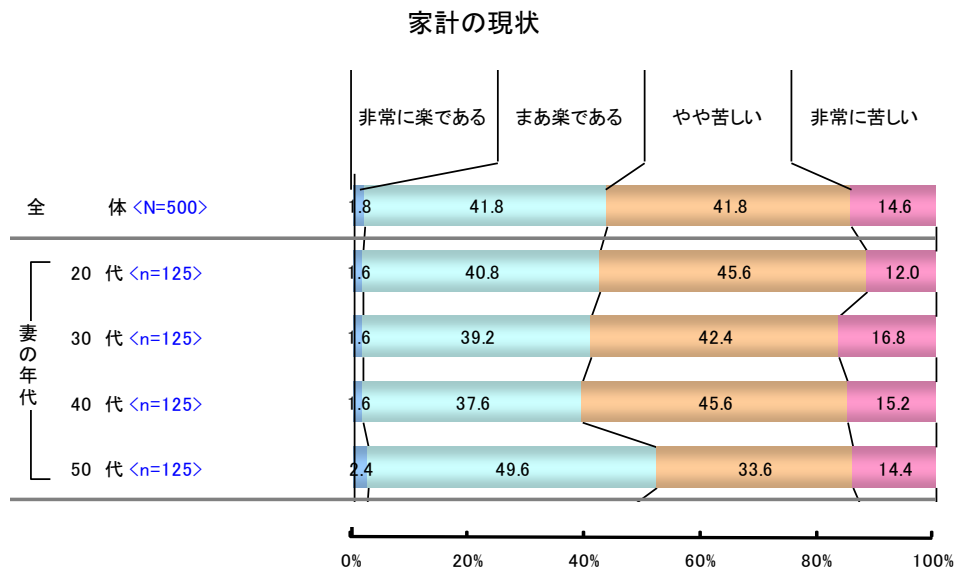
- 【芸能界】 「堺雅人」(39件) → 「嵐」(25件)
 【スポーツ界】 「田中将大」(117件) → 「錦織圭」(83件)
 【その他】 「ふなっしー」(13件) → 「自分」(10件)

と、いずれも入れ替わっています。

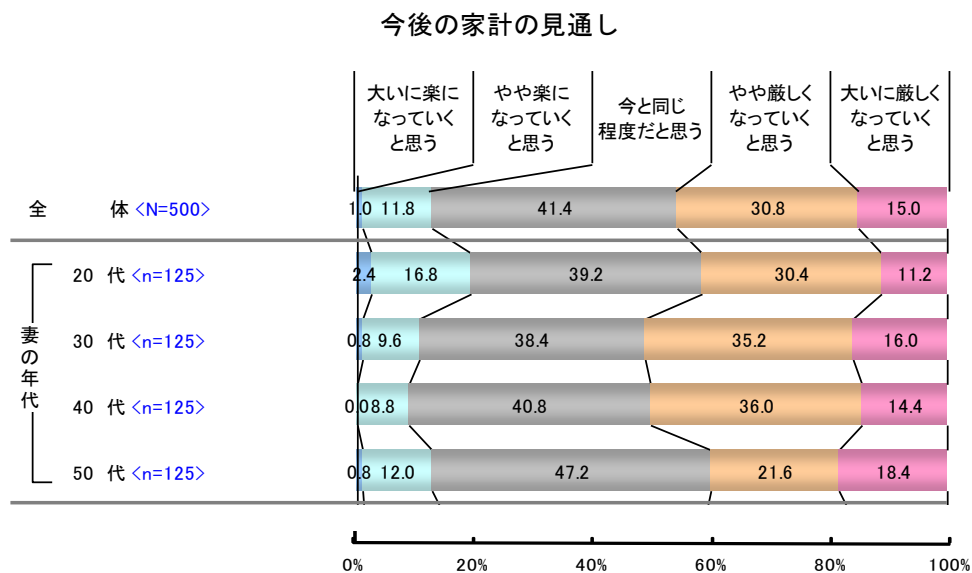
《家計の現状と今後の見通し》

現在の家計が“苦しい”（56.4%）と答えた主婦は昨冬の53.0%より3.4%増加。

“楽である”（43.6%）という回答の割合を上回り、依然として“厳しい”という認識は強い。



家計をやりくりする主婦は現在の家計をどうみているのか聞くと、「非常に楽である」（1.8%）、「まあ楽である」（41.8%）を合わせた“楽である”（43.6%）という回答は半数以下で、「やや苦しい」（41.8%）、「非常に苦しい」（14.6%）を合わせた“苦しい”（56.4%）が半数以上という結果になりました。依然として家計が厳しいという認識は強いようです。



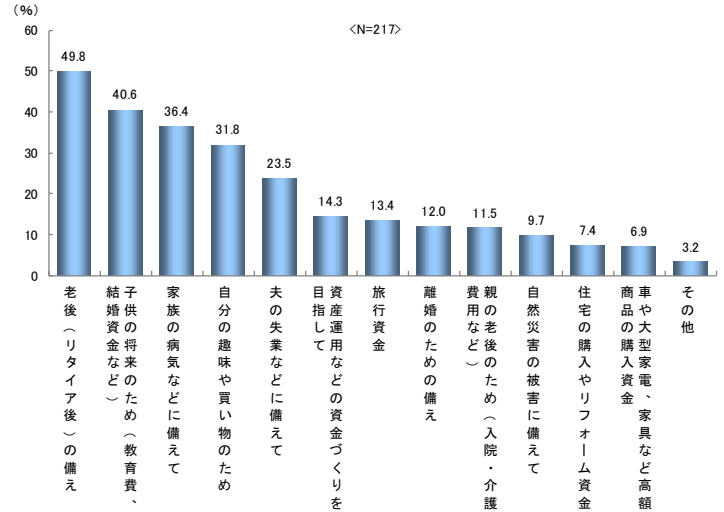
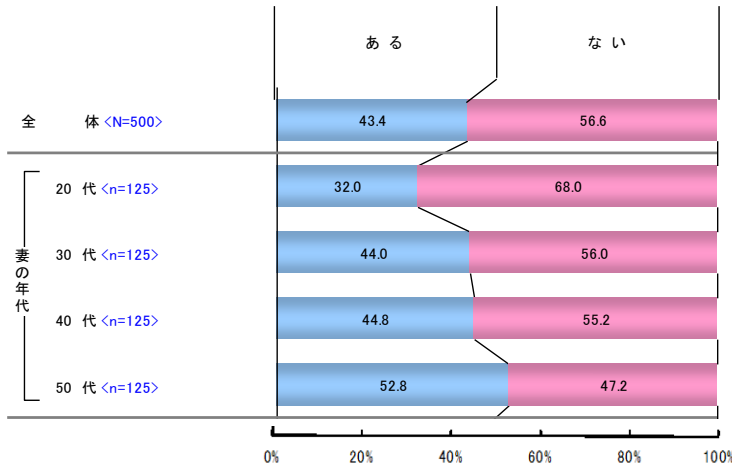
次に、今後の家計の見通しについて聞いたところ、「大いに楽になっていくと思う」（1.0%）と「やや楽になっていくと思う」（11.8%）を合わせた“楽になっていく”（12.8%）は1割台にとどまり、「やや厳しくなっていくと思う」（30.8%）、「大いに厳しくなっていくと思う」（15.0%）を合わせた“厳しくなっていく”（45.8%）という見方ははるかに多く、今後の家計についても悲観的な見方が強いようです。

《主婦の“へそくり”平均額》

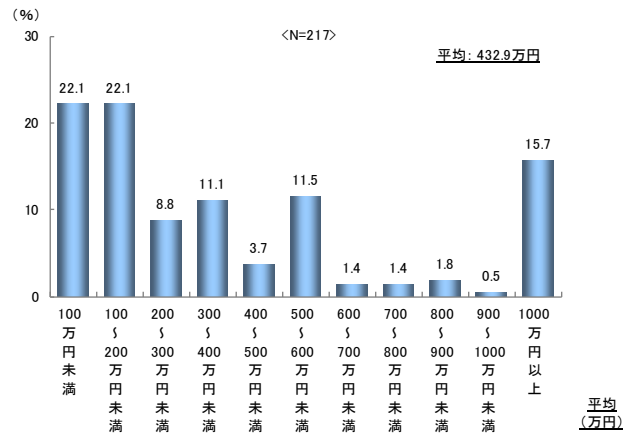
4割強(43.4%)が『夫に内緒の資産』を「持っている」。昨冬と比べて所持率は増加(39.4%→43.4%)。所有している人の平均額は432.9万円で、昨冬比+15.8万円。

『夫に内緒の資産（へそくり）』を持っているか

『夫に内緒の資産』を持つ目的（複数回答）



『夫に内緒の資産』をいくらくらい持っているか



妻の年代	20代 <n=40>	30代 <n=55>	40代 <n=56>	50代 <n=66>	平均 (万円)							
20代 <n=40>	32.5	32.5	7.5	10.0	5.0	259.9						
30代 <n=55>	25.5	21.8	10.9	12.7	3.6	9.1	319.8					
40代 <n=56>	17.9	21.4	14.3	10.7	5.4	12.5	458.8					
50代 <n=66>	16.7	16.7	3.0	10.6	1.5	18.2	618.7					
妻の職業	有職主婦 <n=112>	19.6	20.5	8.9	8.9	3.6	14.3	1.8	1.8	1.8	18.8	462.3
専業主婦 <n=105>	24.8	23.8	8.6	13.3	3.8	8.6	1.0	1.0	1.9	1.0	12.4	401.9
世帯年収	600万円未満 <n=78>	28.2	32.1	14.1	11.5	1.3	3.8	1.3	1.3	-	6.4	225.4
600～800万円未満 <n=58>	27.6	22.4	8.6	8.6	3.4	15.5	1.7	1.7	-	1.7	8.6	364.3
800～1000万円未満 <n=38>	15.8	15.8	2.6	15.8	13.2	10.5	2.6	-	5.3	-	18.4	450.3
1000万円以上 <n=43>	9.3	9.3	4.7	9.3	-	20.9	-	2.3	4.7	-	39.5	909.3

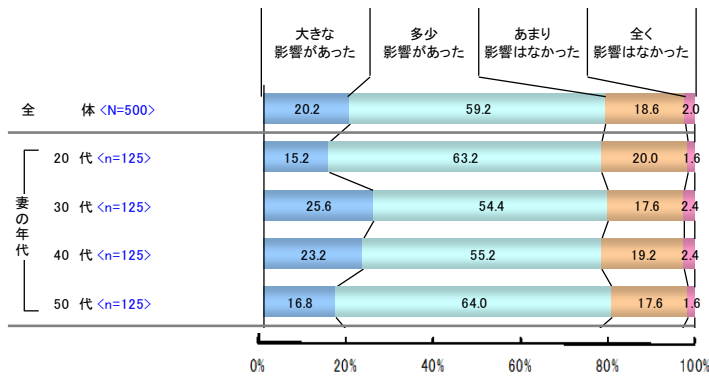
『夫に内緒の資産』を持っている人にその金額を聞いたところ、「100万円未満」（22.1%）、「100～200万円未満」（22.1%）が同率で多く低い金額が上位を占めていますが、次いで「1000万円以上」（15.7%）が続くなど人によって大きな差があります。中には「2億円」「1億円」といった高額資産を持っている人もいますが、そういった例外的な金額（5千万円以上）の人を除けば、資産保有者の平均額は「432.9万円」です。

《2014年4月の消費税増税（8%）の影響》

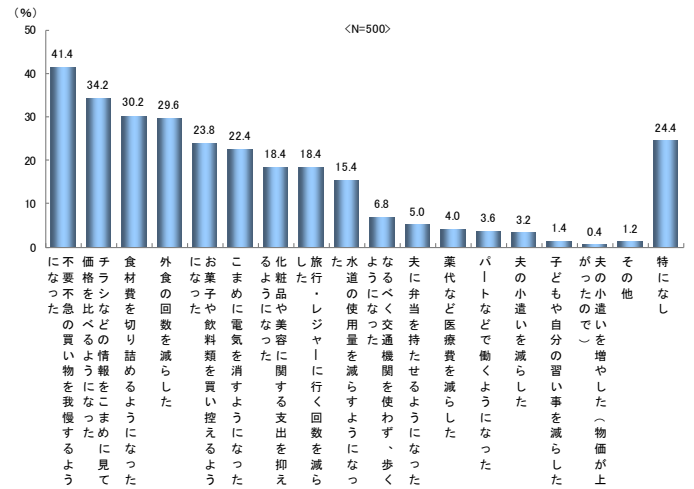
79.4%が2014年4月の消費税増税について「家計に影響があった」と回答。

増税後に値上がりを感じた食材のトップは「豚肉（こまぎれ）」。人気の節約食材は「豆腐」「もやし」。

2014年4月の増税は家計や消費生活に
どの程度影響があったか

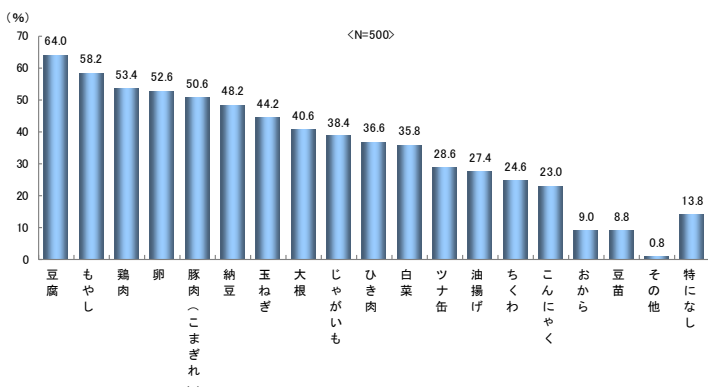


消費税増税の後、家庭の消費行動には
どんな変化があったか（複数回答）

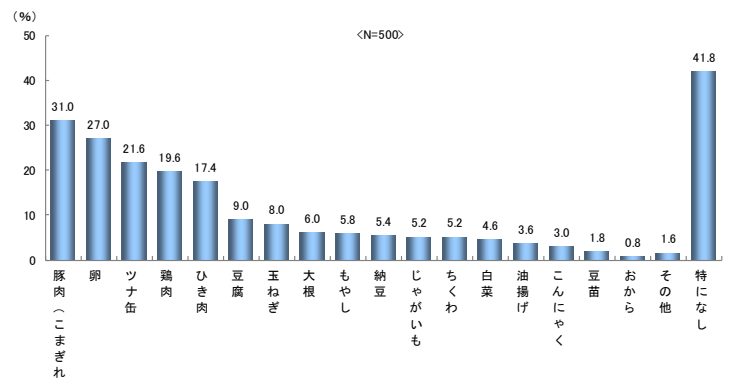


2014年4月に施行された消費税増税に関して、どの程度家計に影響があったかを聞いたところ、「大きな影響があった」（20.2%）と「多少影響があった」（59.2%）を合わせた“影響があった”（79.4%）は約8割という結果になりました。「あまり影響がなかった」（18.6%）と「全く影響はなかった」（2.0%）を合わせた“影響はなかった”（20.6%）よりもはるかに多い結果となり、増税が家計に大きな影響をおよぼしている様子がうかがえます。

日頃よく利用している「節約食材」（複数回答）



増税後に値上がりを感じた食材（複数回答）



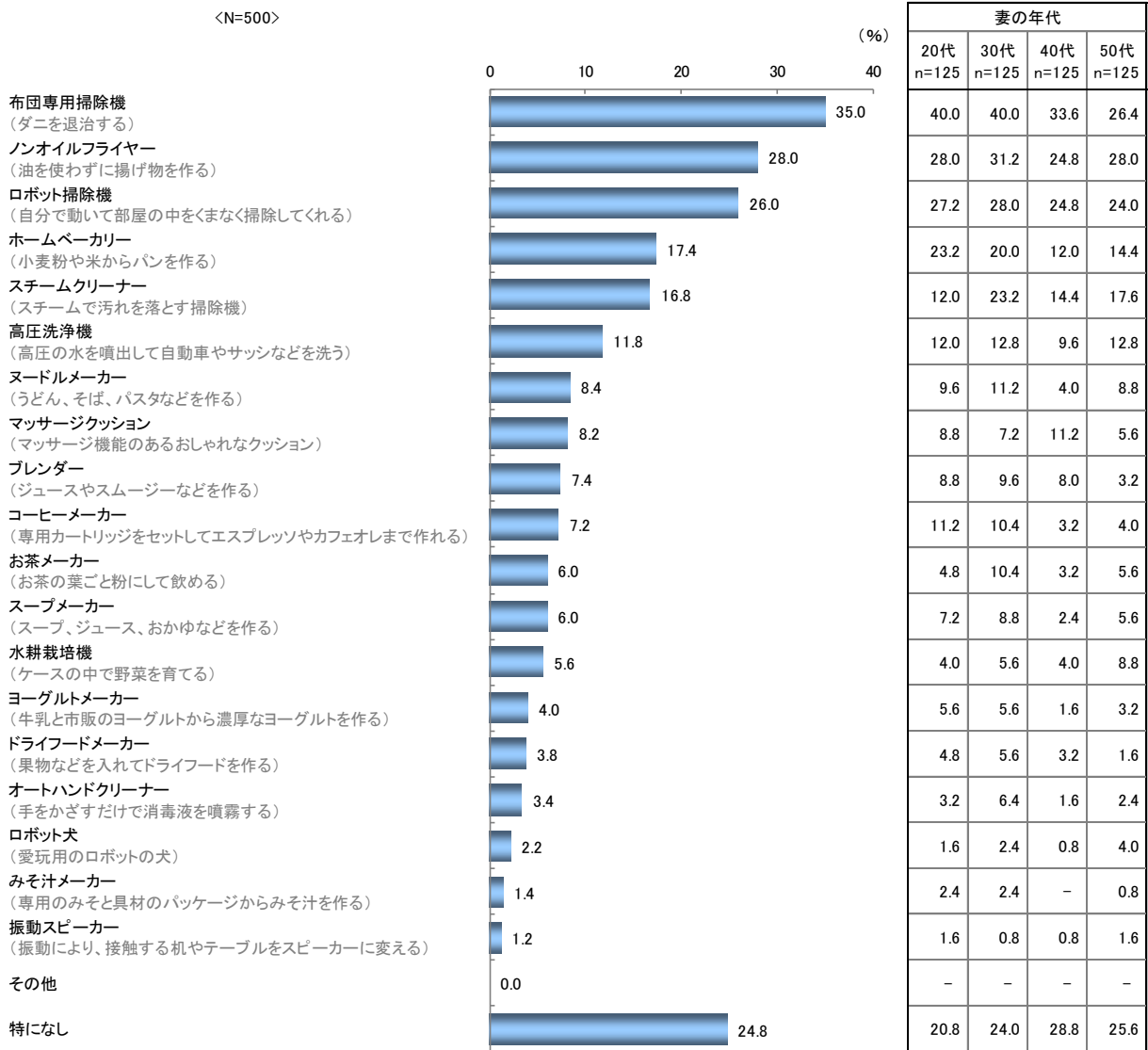
日頃よく利用している「節約食材」は昨冬に引き続き「豆腐」（64.0%）、「もやし」（58.2%）が人気で、以下「鶏肉」（53.4%）、「卵」（52.6%）、「豚肉（こまぎれ）」（50.6%）と続いています。

次に、消費税増税後に値上がりを実感した食材を聞いてみたところ、「豚肉（こまぎれ）」（31.0%）、「卵」（27.0%）、「ツナ缶」（21.6%）などがあがっています。

<購入してみたい生活便利家電（複数回答）>

購入してみたい生活便利家電は「布団専用掃除機」、「ノンオイルフライヤー」、「ロボット掃除機」。

購入してみたい生活便利家電（複数回答）



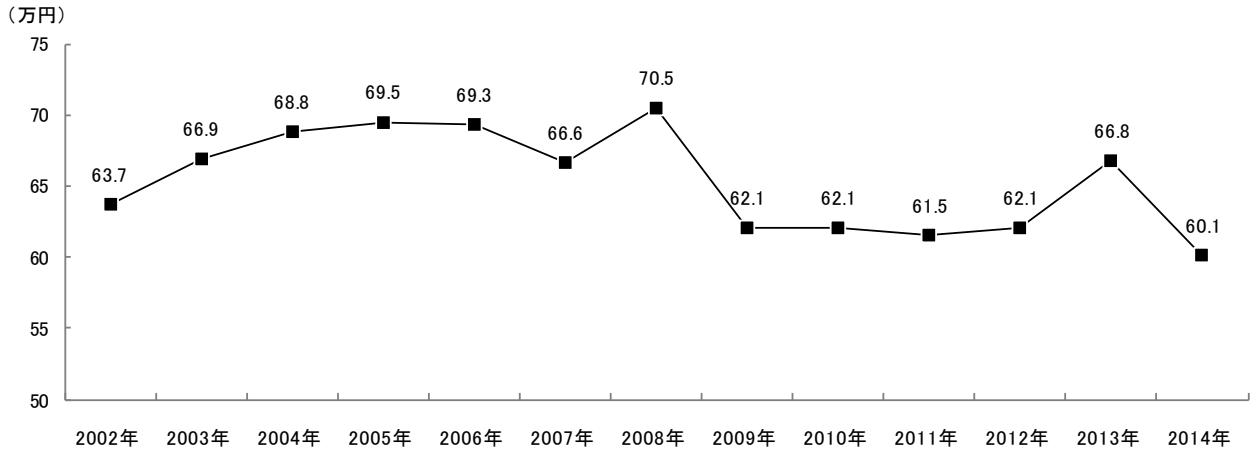
購入してみたい生活便利家電を聞いたところ、最も多いのは「布団専用掃除機」(35.0%)で、以下「ノンオイルフライヤー」(28.0%)、「ロボット掃除機」(26.0%)などが続いています。他、「ブレンダー」(7.4%)や「お茶メーカー」(6.0%)、「ヨーグルトメーカー」(4.0%)、「ドライフードメーカー」(3.8%)など健康的な食を手軽に楽しめる家電も、比較的少数ではありますが票を集めました。

【参考】サラリーマン世帯の主婦に聞く『冬のボーナスと家計の実態調査』 過去推移

年	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			夫の小遣い		臨時ボーナスをあげたい人(最多回答)	票数	へそくり			家計の苦しさ		家計の今後の見通し		
	平均手取り(万円)	増えた	減った	増える	減る+なくなると思う	変わらない	渡した人の平均(万円)	小遣いなしの割合			平均所持率	持っている人の平均(万円)	最高金額(万円)	楽である	苦しい	楽になる	厳しくなる	今と同程度
2003	66.9	24.2%	53.0%	28.4%	39.4%	22.4%	5.3	19.0%	松井秀喜	76票				8.4%	50.8%			
2004	68.8	37.6%	30.8%						イチロー	58票				15.4%	42.6%			
2005	69.5	39.4%	26.0%						レイザーラモンHG	50票	45.6%	241.3	2,000(2名)	43.6%	56.4%			
2006	69.3	40.8%	21.6%				8.8	27.6%	新庄剛志	49票	49.0%	306.3	3,500	47.0%	53.0%			
2007	66.6	36.8%	24.2%				7.4	19.0%	小島よしお	119票	43.0%	245.0	2,000	43.2%	56.8%	16.2%	43.0%	40.8%
2008	70.5	29.0%	34.6%	21.2%	49.6%	29.2%	11.1	37.4%	石川遼	88票	42.0%	461.3	4,000(2名)	38.2%	61.8%	9.2%	59.8%	31.0%
2009	62.1	20.4%	53.8%	23.4%	41.0%	35.6%	7.3	47.4%	石川遼	92票	46.8%	374.3	1億	36.8%	63.2%	11.4%	46.0%	42.6%
2010	62.1	33.8%	31.4%	29.6%	33.8%	36.6%	6.9	42.0%	石川遼	55票	43.4%	308.3	3,500	39.0%	61.0%	13.0%	44.0%	43.0%
2011	61.5	31.8%	29.2%	30.2%	31.2%	38.6%	7.4	46.2%	なでしこジャパン	129票	48.2%	376.1	5,000	41.2%	58.8%	12.4%	42.8%	44.8%
2012	62.1	28.8%	32.6%	23.6%	33.8%	42.6%	11.2	50.4%	スギちゃん	61票	45.4%	414.6	5,000	44.6%	55.4%	15.2%	43.6%	41.2%
2013	66.8	36.4%	21.6%	29.8%	26.6%	43.6%	9.2	46.6%	田中将大	117票	39.4%	417.1	5,000	47.0%	53.0%	15.8%	41.0%	43.2%
2014	60.1	34.8%	18.2%	28.4%	25.0%	46.6%	8.8	51.0%	錦織圭	83票	43.4%	432.9	2億	43.6%	56.4%	12.8%	45.8%	41.4%

注①: 家計の苦しさに関する質問は05年冬より「変わらない」は削除。「変わらない」03年(40.8%)、04年(42.0%)

■冬のボーナスの手取り額（平均手取り額の経年推移）



年	主な使い道										
	1位	金額換算	2位	金額換算	3位	金額換算	4位	金額換算		金額換算	
2003											
2004	預貯金など貯蓄	53.4%	生活費の補填	40.8%	ローン・クレジットの支払い	39.8%	国内旅行・帰省	23.8%			
2005	預貯金など貯蓄	55.2%	生活費の補填	34.6%	ローン・クレジットの支払い	33.0%	国内旅行・帰省	25.8%			
2006	預貯金など貯蓄	54.8%	ローン・クレジットの支払い	34.8%	生活費の補填	30.8%	衣料品・服飾費	22.0%			
2007	預貯金など貯蓄	60.6%	ローン・クレジットの支払い	32.2%	生活費の補填	30.6%	衣料品・服飾費	23.6%			
2008	預貯金など貯蓄	64.2%	生活費の補填	37.4%	ローン・クレジットの支払い	36.0%	家電製品の購入	19.6%			
2009	預貯金など貯蓄	68.0%	生活費の補填	47.2%	8.1万円	ローンの支払い	33.8%	9.3万円	国内旅行・帰省	21.4%	2.5万円
2010	預貯金など貯蓄	70.6%	生活費の補填	43.6%	8.1万円	ローンの支払い	32.2%	8.7万円	プチ贅沢	25.4%	1.9万円
2011	預貯金など貯蓄	75.0%	生活費の補填	44.6%	9.1万円	ローンの支払い	30.4%	8.2万円	衣料品・服飾費	21.6%	1.7万円
2012	預貯金など貯蓄	69.0%	生活費の補填	42.4%	8.9万円	ローンの支払い	29.8%	8.3万円	衣料品・服飾費	19.8%	
2013	預貯金など貯蓄	76.2%	生活費の補填	37.4%	8.6万円	ローンの支払い	28.2%	7.6万円	プチ贅沢	22.4%	2.1万円
2013	預貯金など貯蓄	76.2%	生活費の補填	37.4%	8.6万円	ローンの支払い	28.2%	7.6万円	プチ贅沢	22.4%	2.1万円
2014	預貯金など貯蓄	75.0%	生活費の補填	40.0%	8.2万円	ローンの支払い	27.2%	7.0万円	プチ贅沢	21.0%	1.9万円

注: 主な使い道に関する質問は09年冬より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割